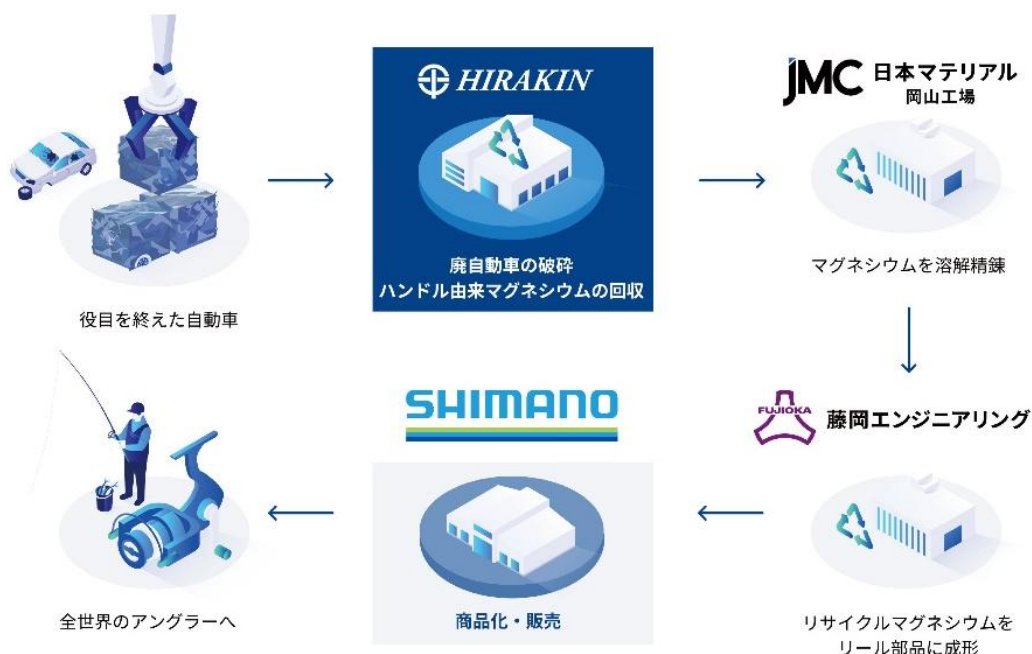


報道関係者各位

2026年4月16日
平林金属株式会社

自動車ハンドルが釣具のリールへ再生 岡山発「グリーンマグネシウムプロジェクト」始動！

平林金属株式会社（本社：岡山県岡山市）は、自転車部品・釣具メーカーの株式会社シマノ（本社：大阪府堺市）、日本マテリアル株式会社（本社：大阪府大阪市）、藤岡エンジニアリング株式会社（本社：岡山県真庭市）と共同で、自動車ハンドルに使用されていたマグネシウムを高品質な原料へ再生し、新たな製品へと活用する「グリーンマグネシウムプロジェクト」を始動しました。岡山県内企業が連携し、資源回収から溶解・精錬、成形までを地域内で完結させる資源循環スキームであり、マグネシウム to マグネシウムによる高品質な資源循環を実現したものです。本プロジェクトでは、株式会社シマノの厳しい社内基準をクリアした、リサイクル原料 100%を使用したリールの試作に成功しています。



再資源化モデル イメージ図

※グリーンマグネシウムとは、再生可能エネルギーの活用やリサイクル資源の利用などを通じて、製造から再資源化までの過程におけるCO₂排出量を低減した環境配慮型のマグネシウムです。

これまで、自動車ハンドル由来のマグネシウムは、ウレタンの剥離が困難であることや経済合理性の確保が課題となり、リサイクルの社会実装には至っていませんでした。こうした課題に対し、当社の「もったいない」精神に賛同した株式会社シマノの発案により、2025年から実証実験を開始。その結果、当社のリサイクル技術および徹底した選別工程により、自動車ハンドル由来マグネシウムの安定的な回収を実現しました。

回収された素材は、日本マテリアル株式会社岡山工場にて溶解・精錬され、高品質なリサイクル原料として再生されます。その後、藤岡エンジニアリング株式会社にてリール部品へ成形し、最終的に株式会社シマノが製品化に向けた検討を進めています。

さらに、日本マテリアル株式会社の再生溶解・精錬技術により、量産規模においてもバージン原料使用時と同等、あるいはそれ以上の高品質を有することが実証されました。強度低下は見られず、品質面においても同等の性能を実現しています。

また、再生マグネシウム材の CO₂ 排出量削減効果は、一般的にバージン原料と比較して約 90%削減できることが確認されています。加えて、成形工程を岡山県内の藤岡エンジニアリング株式会社が担うことで、資源回収から溶解・精錬、成形までを県内で完結させる資源循環スキームを構築しました。サーキュラーエコノミーの推進においては、資源の循環に加え、輸送コストや輸送時の CO₂ 排出も重要な課題の一つです。本取り組みは、地域内で資源を循環させることでこれらの課題解決に貢献する、新たなモデルケースとなるものです。

当社は今後も、本プロジェクトで構築した地域循環型スキームの展開を通じて、サーキュラーエコノミーの実現に貢献してまいります。



平林金属で破碎・選別された再生マグネシウム原料



日本マテリアル岡山工場で再生されたマグネシウム



藤岡エンジニアリングで試作成形されたリール部品

【お問い合わせ】平林金属株式会社 岡山市北区下中野 347-104
TEL:086-246-0011 FAX:086-246-1100 Mail:yu-yamamoto@hirakin.co.jp 広報担当:山本